

一般質問



紙本
議員

○公共施設の公園等の管理について

質 福島体育館は、雨漏りが発生しフロアにはブルーシートが敷いてあり、天気予報が必要な体育館です。安全性・利用制限について伺います。

生涯学習課長

福島体育館の雨漏り対策として、雨水が落ちるフロアの部分にシートを敷き雨水を受ける容器を置いて対応している状況で、利用者には大変ご不便をおかけしています。雨漏りが発生している状況での利用に際しては、指定管理者を通じて転倒などの注意喚起を行っていただきます。

質 福島体育館の改修の優先度を上げて、対応する考えがあるか伺います。

市長 福島体育館は福島地域の重要な文化・スポーツの拠点であることは十分承知しており、活用に制限があることについて、何とかしなければと思っております。

令和8年度当初予算で、応急措置のための予算を計上しており、新年度になり応急措置工事を行い、措置後の状況をしっかり把握しなければならぬと思っております。

その上で、さらに措置が必要であれば、適宜判断し対応します。

○学校給食費の無償化について

質 県内では、学校給食費の完全無償化の動きが着実に広がっている状況ですが、現在の給食費に対する本市の支援を伺います。

教育総務課長

学校給食費はこれまで物価高騰分を支援するかたちで給食費の値上げを据え置いています。令和7年度は給食費の値上げを行い、児童生徒の給食費に対して市独自の子育て支援策として2分の1助成を行い、保護者の負担軽減を図っています。

質 国が全国一律で給食費の無償化を実施した場合、市の財源軽減相当分は、ほかの子育て支援施策に充てることは可能か。可能な場合、何の支援に充てる考えか伺います。

市長 令和8年度の給食費、小学校分の5021万7千円は国の交付金で賄うことになり、残りの3771万7千円は市独自の対応となります。令和7年度は、給食費約8千万円のうち、半額の約4千万円を市独自で支援を行いましたので、財源軽減分については、これまで検討してきた中学校生徒への制服費の補助に充てる検討を行っています。

一般質問



立
議員

○市内商店街の購買力向上施策について

質 市内の各域において、何代にもわたって家族経営での商売、事業を営む方がおられるからこそ、市内全域の活気が辛うじて保たれている。私たち消費者はこのことをしっかりと認識し、市内で用立てできる物品はできる限り市内で購入する配慮、公的物品入札・工事入札も充分配慮すべきである。また、年々人口減少が進み深刻さが増すと考えられ、購買力の向上が著しく低迷することが予測される。私たちが購買力向上への認識を新たにすべきと思うが、市の考えを伺います。

市長 市内で買えるものはできるだけ市内で買うことは非常に大切なことで、一人一人がこの意識を持って商店街の維持・存続につながり、市内経済の活性化が図られるものと思います。市としても、地元で買い物をすることは地域内の雇用確保、まちのにぎわい創出につながる重要な取り組みであり、その積み重ねが住み続けたいまちをつくることになると考えます。現在、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民一人当たり1万円分のまつ

うら生活応援券を交付しています。これを活用することでお店とのつながりを持って、それを続けていくきっかけづくりになればと思っております。

○第一次産業を他自治体では見出せない特色ある産業創出について

質 近年の気候変動に順応した新たな作物、他の地域では得られない松浦市内に多く存在する土質に適した作物などを探求し、新たな成果を見出すこと、また、地球温暖化に伴う海流蛇行による漁場変化等による水揚げ魚種の変化、漁期の変化に機敏に対処することは、非常に重要な時期にきていると考えられる。大学の農水関係学部との研究共有等を踏まえて、他自治体ではほとんど目に見えない農産物、魚類の商品化を図ることが、第一次産業従事者の生活安定につながると思うが、市の考えを伺います。

農林課長 大学との連携について、現在は県立農業大学生の研修受け入れを実施していますが、研修先の農家で栽培技術等を学ぶもので、地域に合った特色ある新たな農作物を見出すための研究を行うものではないと思っております。

市長 第一次産業は、その地域に根づいて仕事をされるため、定住につながる大切な基幹産業であります。さまざまな視点から、本市に適したものがあれば積極的に取り組んでいきたいと考えます。